

第5回定例理事会

1月14日
 グランドアーク半蔵門
 出席理事25人・監事2人・特別参与2人

「あるべき姿目指し粛々と」

庄司会長、新たな「復活」を強調

冒頭、庄司孝輝会長は、昨年12月25日に6団体（日工組、全商協、日遊協、同友会、余暇進、PCS A）が出した「ばちんこ遊技機の撤去回収等に関する声明」（1月号既報）について、「全日遊連は1月の理事会を通さないと難しいということだった。ぎりぎり25日まで説得工作をしたがああいう結果になった。本来なら7団体で出すべきだというのが私の思いだ。マスクミの動きは年始では一応沈静化しているが、国会の状況次第では、

何かしらの形で出る可能性はある」と述べた。

その上で、「将来的な展望から言えば、これから低射幸性のバラエティーある機械をつくると日工組が宣言しており、ホール団体の意見、要望を踏まえてつくっていくと思う。今年、来年と厳しくなると思うが、この先の業界のあるべき姿を目指しながら粛々とやっていかなければならない。逆にこういうことがなければ、これから先、ファンを増やそうという動きは多分出なかつたのではないか。これを機にいい方向に、新たな大衆レジャーとしてパチンコがよみがえるように進めていきたい」と強調した。

玉が入らないということを受けて遊技産業健全化推進機構の遊技機性能調査が始まった③出荷時に問題があるのではないかとということ警察庁から日工組へ調査依頼があった④11月4日、日工組が一部型式検定と違う機械が出ていた旨を警察庁に報告した⑤同月6日、警察庁からホール5団体に該当遊技機の撤去要請があった⑥ネット等でくぎ問題が取り上げられ出し、12月24日以降、読売、毎日、朝日など一般紙が取り上げた⑦同月25日、6団体共同声明が出された——と

全日遊連理事会での警察庁保安課長講話でくぎの問題が触れられた
 ②6月1日、一般人賞口に
 を重視し、結果、全日遊連抜ききの声明になったことが報告された。さらに共同声明の前書き部分と推進すべき6項目についての内容説明があった。

新台設置と部品交換
メーカー責任明確化

流通制度健全化のため、日工組日電協が作成した「製造業者遊技機流通健全化要綱」と「遊技機製造業者の業務委託に関する規程」の各最終案、それに関連して日遊協が主管する「遊技機取扱主任者に関する規程」の一部改正案の内容が説明された。

日遊協としては、大きな社会問題になる前にスピード感をもって業界としての対策を打ち出すべきだという方針から、11月末から声明の文面を起草し、12月に入って警察庁に相談するとともに関係団体にアプローチした。しかし全日遊連は1月の理事会を経る手続き

「6団体声明」の経過報告
日遊協はスピード追求

昨年12月25日の6団体共同声明に関して、経緯と内容が報告された。経緯では、①昨年1月、

取扱主任者の新役割

要綱を受けた規程では、第3条で業務委託する業務として①新台

◀6団体共同声明等が報告された第5回定例理事会
 (円内) 冒頭あいさつする庄司会長





定した販社の取扱主任者が点検確認することになっている。

メーカー側では、1月末までに最終版を確定、4月1日施行という話を進めている。

日遊協としては、

「2015年パチンコ・パチスロファンアンケート調査」の結果が提出され承認された。(20〜25ページに調査結果概要)を図っていく。

松谷明良氏が相談役に

松谷明良理事(前北海道支部長)が退任し、庄司会長の推薦により相談役に委嘱された。松谷氏は2005年6月から約11年間理事として活動した。松谷氏の後任理事には美山正広北海道支部長が前回の定例理事会で承認されており、臨時社員総会で正式に選任された。

松田高志特別参与(同友会理事相談役)が退任し、後任に同友会が東

野呂一氏(同友会代表理事)を推薦したことに伴い、東野氏を特別参与に選任した。

7支部で健全化勉強会

「くぎ」「流通」など

遊技くぎや新台設置・部品交換のルール化など業界が直面している課題について会員に理解を深めてもらうため、日遊協は1月中旬から3月にかけて全国7支部で健全化勉強会を開いていく。勉強会の内容は、①遊技くぎ問題の対応 ②4月1日に施行される遊技機流通関係規程(「製造業者遊技機流通健全化要綱」「遊技機製造業の業務委託に関する規程」等)の説明 ③依存問題対策としての自己申告プログラムの説明 ④質疑応答——となっている。

各支部の開催スケジュールは、本部と東京都・関東支部が1月14日、臨時社員総会(グランドアーケード半蔵門)を利用して開いたのを皮切りに、同月19日中部支部(名古屋ガーデンパレス)、28日中国・四国支部(メルパルク広島)、29日九州支部(遊技会館会議室)、3月3日東北支部(パレスへいあん)となっている。北海道支部、近畿支部

の日程は未定となっている。

日遊協支部運営会議

本年度の活動計画発表

「くぎ」など当面の課題協議

日遊協支部運営会議が1月14日、東京千代田区のグランドアーケード半蔵門で開かれ、6支部長、7事務所長と本部役員ら20人が出席した。庄司孝輝会長は「地方支部には情報が伝わりにくい面もあると思うが情報共有を強化していきたい。その都度ご意見があればお聞かせ願いたい」と挨拶した。

7支部から会員状況の推移、行動実績、2016年度計画などが報告され、置引き問題、外国人勧誘、カジノとの関連、サミット対応、オレオレ詐欺などについて言及された。

当面の課題であるくぎ問題、新台設置と部品交換の規則、活性化委員会の現状などについて協議された。

□支部出席者 谷口久徳東北支部長、西村拓郎東京都・関東支部長、山口悟中部支部長、福井章近畿支部長、後藤信行中国・四国支部長、樋口益次郎九州支部長及び7支部事務所長

日遊協新年祝賀会

「転換期の年になる」庄司会長 「新しい遊技機の時代へ」

日遊協新年祝賀会が1月14日夕、第5回定例理事会、臨時社員総会に引き続きグラウンドアーク半蔵門で開かれた。正会員・賛助会員企業の役員・社員、団体加盟の役員、業界誌関係者など約340人でにぎわった。

庄司孝輝会長は冒頭の挨拶で、昨年暮れに6団体が共同で出した「ぼちんこ遊技機の撤去回収に関する声明」の経緯等に触れた後、「日工組からリスト(検定機と性能が異なる可能性のあるぼちんこ遊技機)が出されたら、きちっと撤去回収を進めることが社会の信頼につながっていくと思う。前向きに考えれば、日工組はホールの意見を聞きながら新しい遊技機を開発していくとしっかり言っているし、これまでこの業界ができなかった

相談役に就任した松谷明良前北海道支部長(左)が深谷友尋相談役に話しかける(右端は山田久雄前副会長)



(左から)石橋保彦(株)ジョイコシステムズ会長、福井章近畿支部長、筒井公久日工組副理事長



安く遊べる遊技機がやっとならざるような土壌になってきているのではないか。今年はたぶんその転換期になるのではないかと思う」と述べた。

代表して、日工組の金沢全求理事長が乾杯の発声をし、祝賀会が始まった。立食パーティーの会場には、随所でにぎやかな歓談の花が咲いた。最後に大久保正博副会長が中締めを行った。



新年祝賀会を祝う(左から庄司孝輝会長、金沢全求日工組理事長、美山正広新理事、伊豆正則回胴遊協理事長)



談笑する(左から)和久田守彦副会長、内ヶ島隆寛理事、井上孝司日工組副理事長

特別参与に選任された東野昌一同友会代表理事が壇上で紹介された。相談役に委嘱された松谷明良氏(前北海道支部長)に庄司会長から花束が贈呈された。

平成28年度 遊技機取扱主任者講習・試験日程表

地区	開催地	新規	更新	会場
北海道	札幌	6月 6日(月)	6月 6日(月)	札幌ガーデンパレス
		7月 6日(水)	7月 7日(水)	
東北	仙台	4月14日(木)	4月14日(木)	メルパルク仙台
		5月11日(水)	5月11日(水)	
関東・東京	東京	4月 5日(火)	4月 6日(水)	オーラム
		4月20日(水)	4月21日(木)	ベルサール神田
		4月27日(水)		ベルサール秋葉原
		6月30日(木)	7月 1日(金)	ベルサール神田
		7月19日(火)	7月20日(水)	ベルサール神田
		9月15日(木)	9月16日(金)	ベルサール秋葉原
		10月27日(木)	10月28日(金)	ベルサール神田
		12月 7日(水)	12月 8日(木)	オーラム
		H29 1月18日(水)	H29 1月19日(木)	ベルサール神田
		中部	名古屋	5月30日(月)
6月22日(水)	6月22日(水)			
7月14日(木)	7月14日(木)			
近畿	大阪	11月10日(木)	11月11日(金)	大阪ガーデンパレス
		5月31日(火)	5月31日(火)	
		8月31日(水)	9月 1日(木)	
		9月26日(月)	9月27日(火)	
		11月24日(木)	11月25日(金)	
中国	広島	H29 2月15日(水)	H29 2月16日(木)	メルパルク広島
		5月18日(水)	5月19日(木)	
四国	高松	8月30日(火)	8月30日(火)	マリパレスさぬき
九州	福岡	8月 4日(木)	8月 5日(金)	博多サンヒルズホテル
		9月 6日(火)	9月 7日(水)	
開催回数		21	23	

※期日及び会場は変更することがあります

日遊協臨時社員総会

美山正広氏が理事就任 「社会から信用される業界へ」

日遊協臨時社員総会が1月14日、第5回定例理事会の後に開かれ、松谷明良理事(前北海道支部長の退任に伴う後任の理事に美山正広北海道支部長を選任した。

美山氏は(株)正栄プロジェクト(本社・札幌市)代表取締役。前回の定例理事会(昨年11月)で後任の理事

として承認済みとなつている。

理事就任にあたって同氏は、

「今、わが業界には大変な逆風が吹き、社会から厳しい目を向

けられている。業界が優先的に

やるべきことは、社会からの信用

をさらに高めていくことだと思

っている。今まで各業界団体は自分たちの目線



←理事選任と状況報告が行われた臨時社員総会

で業界を守っていこうとしてきたが、今後は社会的な目線でこの業界を守っていくという変化が必要になつてくるのではないかと。社会から信用される業界、世の中からパチンコがなくなつては困ると思われ、業界を指して一生懸命行動していきたい」と抱負を述べた。



臨時総会で理事に選任され、あいさつする美山正広北海道支部長

特別参与に東野昌一氏

定例理事会で特別参与に選任された東野昌一同友会代表理事に委嘱状が交付された。東野氏は、「業界が今非常に厳しい中、この業界が必要だと国民に思っていただけ、これが一番大事だ。この職をいただいた以上、一生懸命頑張っていく」と述べた。

報告事項では、遊技くぎ問題の経緯等について茂木欣人風管法PTリーダーから、昨年末の6団体声明と新台設置・部品交換等制度化の規



衆議院議員衆議院議員平沢勝栄が祝辞を述べる

程の体系(案)について堀内文隆専務理事から、昨年暮れから一部ホールでの導入が始まった自己申告プログラムのついて安藤博文依存問題PTリーダーから、それぞれ説明があった。

総会の途中、平沢勝栄衆議院議員の来賓挨拶があった。

臨時社員総会は、1月14日現在の正会員数349社に対し、出席正会員129社、委任状提出正会員132社で定款第20条の定足数を充足し有効に成立した。

取扱主任者講習・試験

28年度「新規」8回増

講習手数料など改正

平成28年度(2016年度)の遊技取扱主任者講習・試験日程が、1月14日の第5回定例理事会で承認された。札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡の全国8地区で開催される。「新規」が前年度より8回(約3000名分)増え、全体で44回(新規21回、更新23回)となった。

「新規」は東京で5回、大阪で3回増加した。「新規」の回数が増えた原因は、新台設置・部品交換等に関する新しい流通制度の中で、業務委託に関連してホールの取扱主任者が部品交換で「特定部品」を除いて点検確認できることになり、ホール企業から「新規」の受講申請が急増しているため。

また、「遊技機取扱主任者に関する規程」の一部改正(4月1日施行)も同理事会で承認された。この中で、各手数料(講習、新規試験、更新時試験、記載事項変更、再交付)の改正が行われる。講習手数料は現行1万2000円から1万2360円になる。